

法金剛院はふこんがうゐんならびの丘をかにあり、むかし清原真人夏野の別荘きよはらまつひとなり。其子右大臣瀧雄公うだいじんたきをもならびの丘をかのうへに山荘をいと
なみて、後寺となして双丘寺さうきゅうじとなづく。既に荒廢に及ぶの所、大治年中に待賢門院再興たいけんもんゐんさいこうありて、号を法金剛院はふこんがうゐんとあらた
む。宗旨しゅうしは四宗兼学けんがく、中興ちゆうこうは円覚上人ゑんがくなり。

本尊は阿弥陀如来あみだ〔丈六の像、春日作とぞ〕